

なからぎ

238号

2022年7月

イギリスの公立中学校を描いた『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

副学長 山口 美知代

ブレイディみかこさんの『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』（新潮社）は、イギリスの公立中学校に通う息子とアイルランド人の夫や周りの友達の状態を描いたエッセイです。私は自分がイギリス人と結婚して息子が二人いるので、日本ではなくイギリスで暮らして子育てしていたらどうだっただろうと思いながら読みました。

タイトルの「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」は、息子さんの言葉だそうです。日本人の母を持ち外見上はアジア系にも見える、イギリスで生まれ育ち日本語のわからない英語母語話者である少年の言葉として印象的です。

中学校を選ぶときに、面倒見がよく進学指導も充実したミドルクラスのなカトリック校と、課外活動に熱心でワーキングクラスの家庭も多い近所の公立中学校が選択肢としてあり、後者にしたと最初に説明されます。お母さん（ブレイディさん）が後者を気に入って、息子さんも影響されたようです。

興味深いのはアイルランド人のお父さんが、最初その選択に反対であったということです。お父さんは反対の理由として「まず第一に、あの学校は白人だらけだからだ。お前はそうじゃない。ひょっとするとお前の頭の中ではお前は白人かもしれないが、見た目は違う。第二に、カトリック校はふつうの学校よりも成績がいいから、わざわざ家族で改宗して子どもを入学させる人たちもいるほどだ。うちはたまたまカトリックで、ラッキーだったんだ。それなのに、その俺らのような労働者階級では滅多にお目にかかれない特権をそんなに簡単に捨てるなんて、階級を上昇しようとするんじゃないで、わざわざ自分から下っているようで俺は嫌だ」と言ったそうです。人種と階級と教育についての思いが込められています。

この本は息子の中学校生活を描きながらも、人種差別、貧困家庭、EU 離脱、ワールドカップとナショナリズムなどの主題について、ややフィクション化したエッセイというスタイルで語っています。日本とは異なる国の日常が親しみやすい筆致で描かれています。

コロナ禍で海外に出ることや海外から人が入ることが難しい状況が2年以上続いていましたが、ようやく出入国規制も緩和され、また旅行や留学で海外に行くこともできるようになりそうです。学生時代にぜひ、イギリスに限らずどこか外国を訪ねてみてください。計画を立てながらウォーミングアップを兼ねてこの本も手に取ってください。図書館に入っています。



『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』
ブレイディみかこ著、新潮社
(請求記号 372.33|B)

今、ハンナ・アーレント (1906-1975) に出会って

生命分子化学科 高野和文

小中とほとんど本を読まなかった。国語の授業もチンプンカンプンで、読書感想文の宿題なんて、読むのも書くのも苦痛でしかなかった(数理は心地よかった)。ところが高1になって突如として読書が楽しくなった。おそらく、文章の読解力がようやく追いついてきたのだろう。高3の受験期を除いて大3まで小説を中心に読んで読みまくった。そのおかげか、壊滅的だった国語の試験結果が高3でいくらか改善され、共通一次(その後のセンター試験、今の共通テスト)で致命傷を負わずに済んだ。ただ大4で研究室に入ってから、読み物は学術論文に取って代わった。実験の合間に図書室で論文を読み漁った。一方、書く方は苦手で初めのうちは論文執筆に苦勞したが、そのうち書く愉しさに目覚めていった。こちらは義務的な要因であったが。いずれにせよ好き嫌いは時と状況で意外と変わるものなのだろう。40歳のとき、これまでの車や自転車での通勤から、片道1時間40分の電車通勤が始まった。しばらくは車内で論文を読んでいた(座ったらそのうち寝落ち...)。が、どうも理解が乏しい。論文はデスクで落ちて読んで読むこととして、約20年振りに本を読みだしてみた。

まずは科学系の本を手を取った。『サピエンス全史』(河出書房新社・2016)、『遺伝子は、変えられる』(ダイヤモンド社・2017)、

『土と内臓—微生物がつくる世界』(築地書館・2016)、『戦争がつくった現代の食卓—軍と加工食品の知られざる関係』(白揚社・2017)等々。結構勉強になるし面白い。科学の本を読み進めるにつれて、哲学にも興味が湧いてきた。ただ私に哲学を本格的に理解する力は乏しい。ど素人向けの入門書だ。『ゼロからはじめる! 哲学史見るだけノート』(宝島社・2018)、『哲学者だけが知っている 人生の難問の解き方』(宝島社・2017)、『学びなおすと倫理はおもしろい』(ベレ出版・2017)等々。ほんの少しであるが哲学の面白さや意義が見えてきた。

一方で大学教員として、大学での重要な学びの要素である「問いを立てる」ことも考えてみたい。『問こそが答えだ!』(光文社・2020)、『揺らぐ世界〈中学生からの大学講義〉4』(筑摩書房・2015)等々。その中で、『新・大学でなにを学ぶか』(岩波書店・2020)にソクラテスの「無知の知」が取り上げられていた。「無知の知」を、自分が無知であることを知っていること、つまり、さも知っているように思っているのは、実は、物事を真摯に考えていないということ、程度に理解している気でいた。ところがハンナ・アーレントの解釈、人間の無知という事実の確認ではない。何かに驚き、答えの出ない根源的な問いに付きまといながら、自らの無

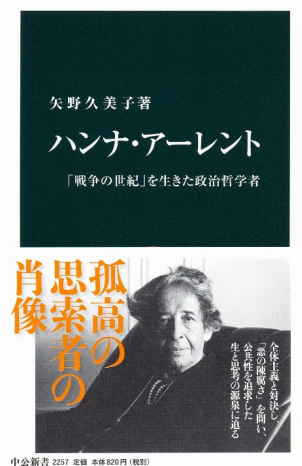
知を自覚することで、「人間は問いを発する存在として自ら確立する」、を知り愕然とした。自らのちっぽけさを感じた。

ハンナ・アーレントについては、高校の世界史や倫理、大学の教養で出てきていたのかもしれないが、当時は全く記憶・知識なく、誰?状態だった。ネット検索して、偉大な政治哲学者であることを知った。考えることや事実を語ることの大切さを訴えた人物で、彼女自身は理解することを望んだ。また、彼女は大勢に組まない自説を貫き通す哲学者として多くの尊敬を集めている。ただし反感を持たれることも多々あったようだ。彼女の名言として、私が望むのは、考えることで人間が強くなることです。危機的状態にあっても、考え抜くことで破滅に至らぬよう。や、世界最大の悪は、ごく平凡な人間が行う悪です。そんな人には動機もなく、信念も邪心も悪魔的な意図もない。人間であることを拒絶した者なのです。そして、この現象を、私は“悪の凡庸さ”と名付けました。などが紹介されている。どれも現在の我々も考えなければならぬ課題に鋭く切り込んでいる。ただ、そのときはそれ以上の追究はしなかった。哲学に対する壁と文章の難解さに恐れをなして。

2022年になり、ウクライナとロシアの問題が勃発した。この問題を解説するテレビ番組で、ナチスとの関連でハンナ・アーレントの名前が出てきた。今回は、目に留まり、記憶に残った。彼女のことが気になり、その生涯をわかりやすく紹介する本を探してみた。中古の『ハンナ・アーレント―「戦争の世紀」を生き政治哲学者』(中央公論新社・2014)を取り寄せた。一気に読み進めた。ただ、彼

女の著書や思考の紹介のところは難解ですぐに理解できない。ゆっくりと読み直しが始まった。何度か読み直し、所々(自分なりに)理解してきた。理解のたびに、スッとした気持ちとその思考の深さに唸らされ、彼女の非凡さを改めて痛感した。もちろん彼女の考えがすべて完全であると思ってもいけない。ハンナ・アーレントに関する本はたくさん出版されている。しばらくは、ゆっくりであろうが様々な切り口から読み進めてみたい。今は『ハンナ・アーレント―屹立する思考の全貌』(筑摩書房・2019)と戦っている。

ハンナ・アーレントへの興味の始まりが彼女の「無知の知」の解釈であり、さらに後押しをしたのが現在の国際問題であったことは珍しいことかもしれない。また、素人の独自による低次元な理解は滑稽なレベルでもあろう。まあ、仕方がない。読書嫌いの少年が本を手取るようになったのだから、自分なりに思考して理解していこう。また読書や物事に対して、知識情報の取得だけでなく、思考と理解による解釈を求めていこう。ハンナ・アーレントの足元にも及ばないかもしれないが、彼女から陳腐や凡庸と呼ばれない程度に。



『ハンナ・アーレント：「戦争の世紀」を生き政治哲学者』
矢野久美子著、中央公論新社
(請求記号 311.234||Y)

図書館からのお知らせ

夏休み貸出が始まります！

対象者：学部生・大学院生・教職員等

実施期間：7月22日（金）～9月9日（金）

返却期限：10月11日（火）（延長はできません）

貸出冊数：学部生・大学院生 …………… 12冊まで

上記以外の本学関係者 …… 6冊まで

夏休みの間、借りられる冊数が増え、貸出期間も伸びます。



4回生、大学院生は特別貸出も使えます！
1ヶ月/6冊まで（合計18冊）

夏の企画展示「府大の夏を、楽しむ本」

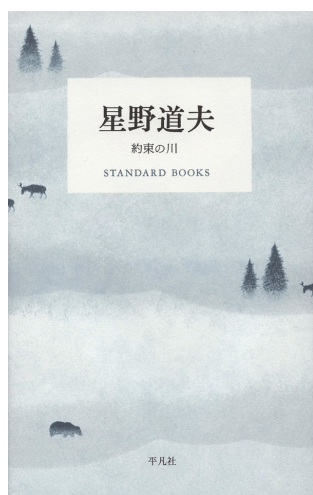
ただいま図書館の企画展示コーナーにて、5つのテーマごとにチョイスした、夏休みに向けておすすめの本を展示しています。この夏をより楽しむきっかけに、ぜひ手にとってご覧ください。

【期間】6月16日（木）～9月30日（金）

【場所】2Fフロア 開架雑誌棚の上部スペース

【テーマ】「何はともあれ試験対策」「京都の夏祭り」「本を読んで旅に出よう」

「先生が府大生にすすめる本」「読んでおきたい名著」



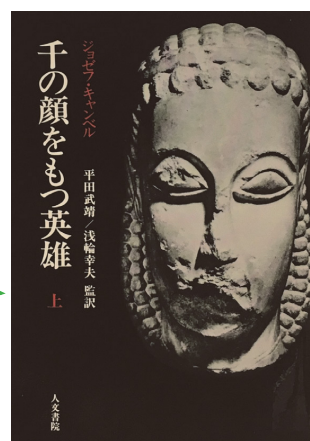
『星野道夫：約束の川』
星野道夫著，平凡社
（請求記号 914.6[S]4-1）

「Follow your bliss」
（至福を追及せよ）

スター・ウォーズの構想にインスピレーションを与えたことで知られる神話学の名著。英雄譚を中心に古今東西の神話を比較し、物語の「元型」を提示した内容はやや難解ながら、人生のどこかで一読する価値あり。

「人生とは何かを計画しているときに起こってしまう別の出来事を言う」

アラスカでの暮らしを静謐な文体で綴った、写真家、探検家の星野道夫によるエッセイ。悠久の自然と時の流れが、心に響く一冊です。



『千の顔をもつ英雄』
ジョゼフ・キャンベル著，人文書院
（請求記号 山本文庫 1164[C]1）

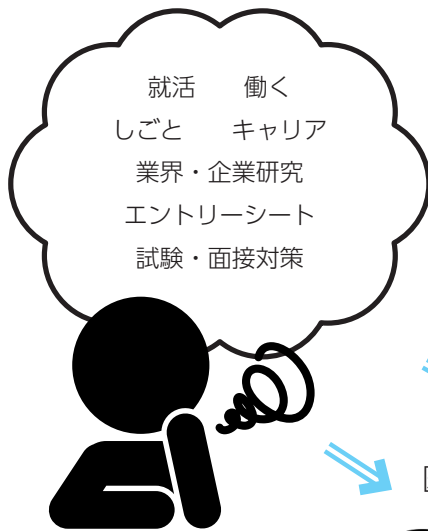
図書館からのお知らせ

就活生のための図書館活用術！

図書館にあるのは、学習や研究のための資料ばかりと思いませんか？

実は、就職活動（以下、就活）に役立つ図書やデータベースも提供しています。まさに就活中の方もまだ先の方も、図書館をうまくご活用ください。

就活に役立つリソース



“仕事” “就活応援” “時事に強くなる”
就活の特集メニューあります！

データベース



週間エコノミスト



2021-2022
読めます

JapanKnowledge Lib



電子ブック



データベースおよび電子ブックは、学内・学外を問わず利用できます。学外からは、全学認証 ID とそのパスワードでログインしてご利用ください。

図書



貸出できます！

文庫新書の新着案内「ブクログ」をはじめました



手のひらサイズで持ち運びに便利な文庫・新書の新着案内ブクログをはじめました。

本のレビュー欄に、府大図書館の蔵書検索 OPAC へのリンクを貼っていますので（表紙をクリック）、利用状況がすぐにわかります。

通学・スキマ時間を、有意義な読書タイムに変えてみませんか。



図書館からのお知らせ

学生希望図書制度

学習・研究に使いたい、読みたいけど図書館にない本を学生・院生がリクエストできます。本学後援会のご支援により、2021年度は157冊の希望図書が新しく並びました。



リクエスト方法

図書館のカウンターにある申込用紙に読みたい本の情報を記入。



スタッフへ提出。



早ければ約 2 週間で図書館から図書到着のメールが届きます。



借りることができます。連絡から 2 週間以内に借りに来てください。

既に図書館にないか検索！

借りる必要がなくなった時は連絡してください

※なるべく多くの学生・院生のみなさんに利用していただくために、年間一人あたりの利用上限額を 5 万円としています。ご了承ください。

図書館基礎知識 ～図書館の「News Letter」を読んでみよう！～

新入生：こう暑い日が続くと、エアコンの効いた部屋から外に出たくなくなるなあ。

Ms. 司書：そうそう。そんな時こそ暑さを忘れて読書…なんていいと思うよ。

新入生：この暑さを忘れるなんて…僕にはとてもできそうにないです。

Ms. 司書：読んでみたい！と思う一冊があれば大丈夫。そんな本と出会えるよう図書館で文庫・新書の到着案内（ニュースレターの発行）を始めたんだよ。

新入生：そうなんですね。どんな内容かなあ。

Ms. 司書：百聞は一見にしかず…これこれ。図書館の受付や合同講義棟入口にも置いてあるよ。

新入生：ホントですね。読んでみたい本がたくさんあるなあ。

Ms. 司書：それから、新しく蔵書に加わった文庫・新書は、Web 上の本棚「ブックログ (Booklog)」(5 ページ参照) でも確認することができるから、是非アクセスしてみて。蔵書検索 (OPAC) のリンクも貼ってあるからとても便利だよ。

新入生：早速見てみます！